

# ヨコハマベイサイドスポーツカーニバル 2019 実施報告書

## 1 事業概要

開催日時	2019年11月16日(土) 10:00~16:00
事業名	ヨコハマベイサイドスポーツカーニバル 2019
場所	横浜赤レンガ倉庫 イベント広場 A
主催	公益財団法人横浜市体育協会
共催	横浜市市民局
協賛	株式会社タカラトミー、カップヌードルミュージアム 横浜
協力	NHK 横浜放送局/三菱みなとみらい技術館/障害者スポーツ文化センター横浜ラポール/横浜市障がい者スポーツ指導者協議会/神奈川大学公認ボランティア部「GLOBAL YEN LEAP」/横浜デジタルアーツ専門学校/横浜こどもスポーツ基金
事業内容	<p>【メインステージプログラム】</p> <p>(1) 「パプリカ」をみんなで踊ろう！ 対象：小学生とその保護者 指導協力：NPO 法人 ZERO Double Dutch&amp;Gymnastic Activity</p> <p>(2) 北京オリンピック女子体操エース 鶴見さんと一緒に遊ぼう！ 対象：3歳～小学生とその保護者 講師：鶴見 虹子さん</p> <p>(3) 遊びからスポーツが好きになる ママ・パパアスリートトークショー 対象：どなたでも ゲスト：高田裕士選手（デフリンピック日本代表） 高田千明選手（世界パラ陸上 2018 走り幅跳び銀メダリスト） 白井勝晃氏（横浜市体操協会副会長 白井健三選手の父）</p> <p>【周辺イベント】</p> <p>(1) ベイブレードバースト体験（タカラトミー） (2) エアカーリング体験（三菱みなとみらい技術館サテライトブース） (3) パラスポーツ体験（ラポール、横浜市障がい者スポーツ指導者協議会） (4) 謎解きウォークラリー「狙われた祭典と港町の探偵」（横浜デジタルアーツ専門学校 ※スポレク代替） (5) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック PR（横浜市市民局） (6) 横浜こどもスポーツ基金 PR</p>
参加費	無料

## 2 参加人数

参加人数	計：7,174 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パプリカ：73 人（親子 33 組 ※事前受付 15 組、当日受付 18 組）</li> <li>●鶴見さん 3 歳～未就学児：31 人（親子 13 組 ※事前 10 組、当日 3 組） 小学生：20 人（親子 9 組 ※事前 4 組、当日 5 組）</li> <li>●トークショー：100 人 ●ベイブレード：1,134 人 ●エアカーリング：699 人</li> <li>●パラスポーツ：798 人 ●謎解き：1,191 人 ●オリパラ：928 人</li> <li>●こども基金：200 人 ●一般来場者：2000 人</li> </ul>
------	-----------	--

## 3 所感

「きっとみんなが好きになる スポーツの魅力新発見！」というコンセプトを設定し、親子をメインターゲットとして運動があまり好きではない子どもや障害がある方などが、遊び感覚で楽しめるプログラムを実施しました。

当日は天候に恵まれ、イベントの開催を事前に知らなかった来場者にも多くご参加いただくことができました。また、本イベントでは横浜こどもスポーツ基金を活用し、特別支援学校・個別支援学級への事前告知や手話通訳の設置など、誰もが参加しやすいよう配慮をしました。スポーツに抵抗がある方でも参加できるプログラムを設定し、多くの方に気軽にご参加いただくことができ、インクルーシブスポーツ推進の側面からアプローチできた有意義なイベントであったと感じます。

4 記録



「パブリカ」をみんなで踊ろう！



鶴見さんと一緒に遊ぼう (鶴見虹子選手)



鶴見さんと一緒に遊ぼう



ママ・パパスリートークショー



トークショーMC 町亞聖氏、手話通訳



ハイブレードーバースト体験



エアカーリング体験



パラスポーツ体験 (ポッチャ)



謎解きウォークラリー



オリンピック・パラリンピック PR